



Storage VM 管理

Amazon FSx for NetApp ONTAP

NetApp
February 11, 2026

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/workload-fsx-ontap/replicate-svm-to-file-system.html> on February 11, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

Storage VM 管理	1
Storage VMを別のFSx for ONTAPファイルシステムにレプリケートする	1
Storage VMのActive Directoryの設定と更新	2
NetApp Workload Factory でストレージ VM タグを管理する	3
NetApp Workload Factory でストレージ VM のパスワードをリセットする	4
NetApp Workload Factory でストレージ VM を削除する	4

Storage VM 管理


Storage VMを別のFSx for ONTAPファイルシステムにレプリケートする

NetApp Workload Factory でストレージ VM を別の FSx for ONTAPファイル システムに複製すると、データ損失が発生した場合にデータ アクセスの保護層が提供されます。この操作により、1つのストレージ VM 内のすべてのボリュームが別の FSx for ONTAPファイル システムに複製されます。

開始する前に

ストレージ VM を別の FSx for ONTAP ファイル システムに複製するには、リンクを関連付ける必要があります。["既存のリンクを関連付ける方法、または新しいリンクを作成して関連付ける方法を学びます"](#)です。リンクが関連付けられたら、この操作に戻ります。

手順

1. いずれかを使用してログインし["コンソールエクスペリエンス"](#)ます。
2. メニューを選択  次に*ストレージ*を選択します。
3. [ストレージ] メニューから、**FSx for ONTAP** を選択します。
4. *FSx for ONTAP*から、レプリケートするストレージVMを含むファイルシステムのアクションメニューを選択し、*管理*を選択します。
5. ストレージ VM の下のファイル システムの概要で、管理 を選択します。
6. [ストレージ VM の管理] 画面で、SVM を複製するストレージ VM のアクション メニューを選択し、[詳細アクション]>[ストレージ VM の複製*]を選択します。
7. [Replicate data]ページの[Replication target]で、次の情報を指定します。
 - a. * FSx for ONTAPファイルシステム*：対象となるFSx for ONTAPファイルシステムのクレデンシャル、リージョン、FSx for ONTAPファイルシステム名を選択します。
 - b. * Storage VM名*：ドロップダウンメニューからStorage VMを選択します。
 - c. ボリューム名：ターゲットボリューム名は次の形式で自動的に生成されます
{OriginalVolumeName}_copy。
 - d. 階層化ポリシー：ターゲットボリュームに格納されているデータの階層化ポリシーを選択します。

Workload Factory FSx for ONTAPユーザー インターフェイスを使用してボリュームを作成する場合、デフォルトの階層化ポリシーは「Auto」です。ボリューム階層化ポリシーの詳細については、以下を参照してください。["ボリュームのストレージ容量"](#) AWS FSx for NetApp ONTAPドキュメント。

- e. 最大転送速度：* Limited *を選択し、最大転送速度をMB/秒単位で入力します。または、*無制限*を選択します。

制限がないと、ネットワークとアプリケーションのパフォーマンスが低下する可能性があります。また、FSx for ONTAPファイルシステムは、主にディザスタリカバリに使用されるワークロードなど、重要なワークロードには無制限の転送速度を推奨します。

8. [Replication settings]で、次の情報を指定します。
 - a. レプリケーション間隔：ソースボリュームからターゲットボリュームにSnapshotを転送する頻度を選択します。
 - b. 長期保存：オプションで、長期保存用のスナップショットを有効にします。

長期保持を有効にする場合は、既存のポリシーを選択するか、新しいポリシーを作成して、レプリケートするSnapshotと保持する数を定義します。

 - i. [Choose an existing policy]*で、ドロップダウンメニューから既存のポリシーを選択します。
 - ii. [新しいポリシーを作成する]*に、次の情報を入力します。
 - A. ポリシー名：ポリシー名を入力します。
 - B. * Snapshotポリシー*：表で、Snapshotポリシーの頻度と保持するコピーの数を選択します。Snapshotポリシーは複数選択できます。
9. 「* Create *」を選択します。

結果

Storage VM内のすべてのボリュームがターゲットファイルシステムにレプリケートされます。


Storage VMのActive Directoryの設定と更新

NetApp Workload Factory の FSx for ONTAPファイル システム内のストレージ VM の Active Directory を構成および更新します。

タスクの内容

Storage VMのActive Directoryの設定と更新も同じ手順です。

手順

1. いずれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. メニューを選択  次に*ストレージ*を選択します。
3. [ストレージ] メニューから、**FSx for ONTAP** を選択します。
4. *FSx for ONTAP*から、更新するストレージVMを含むファイルシステムのアクションメニューを選択し、*管理*を選択します。
5. ストレージ VM の下のファイル システムの概要で、管理 を選択します。
6. [ストレージ VM の管理] 画面で、Active Directory を構成するストレージ VM のアクション メニューを選択し、[基本アクション] > [AD 構成の管理] を選択します。
7. [Manage AD configuration]ページで、次の情報を指定します。
 - a. 参加する**Active Directory**ドメイン: Active Directoryの完全修飾ドメイン名(FQDN)を入力します。
 - b. * DNS IPアドレス*：IPアドレスを3つまでカンマで区切って入力します。
 - c. * SMBサーバのNetBIOS名*：Storage VM用に作成するActive DirectoryコンピュータオブジェクトのSMBサーバのNetBIOS名を入力します。Active Directory内のこのSVMの名前を指定します。
 - d. ユーザー名：既存のActive Directory内のサービスアカウントのユーザー名を入力します。

ドメインのプレフィックスまたはサフィックスは含めないでください。の場合は `EXAMPLE\ADMIN`、
を使用し ``ADMIN`` ます。

e. パスワード：サービスアカウントのパスワードを入力します。

f. 組織単位（**OU**）：組織単位を入力します。

OUは、ファイルシステムに参加する組織単位の識別パス名です。

g. 委任された管理者グループ：必要に応じて、委任されたファイルシステム管理者グループを入力します。

委任管理者グループは、ファイルシステムを管理できるActive Directory内のグループの名前です。

AWS Managed Microsoft ADを使用している場合は、AWS Delegated FSx Administrators、AWS Delegated Administratorsなどのグループ、またはOUに権限を委譲されたカスタムグループを指定する必要があります。


自己管理型ADに接続する場合は、AD内のグループ名を使用します。デフォルトのグループは `Domain Admins`。

8. * 適用 * を選択します。

NetApp Workload Factory でストレージ VM タグを管理する

タグはリソースを分類するのに役立ちます。NetApp Workload Factory では、いつでもストレージ VM のタグを追加、編集、削除できます。

手順

1. いずれかを使用してログインし["コンソールエクスペリエンス"](#)ます。
2. メニューを選択  次に*ストレージ*を選択します。
3. [ストレージ] メニューから、**FSx for ONTAP** を選択します。
4. *FSx for ONTAP*から、更新するストレージVMを含むファイルシステムのアクションメニューを選択し、*管理*を選択します。
5. ストレージ VM の下のファイル システムの概要で、管理 を選択します。
6. [ストレージ VM の管理] 画面で、タグを編集するストレージ VM のアクション メニューを選択し、[基本アクション] > [ストレージ VM タグの編集*] を選択します。
7. [Storage VMタグの編集]ページで、タグを追加、編集、または削除します。


Storage VMに適用できるタグの最大数は50です。

8. * 適用 * を選択します。

NetApp Workload Factory でストレージ VM のパスワードをリセットする

必要に応じて、NetApp Workload Factory のストレージ VM のパスワードをリセットします。

手順

1. いずれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. メニューを選択  次に*ストレージ*を選択します。
3. [ストレージ] メニューから、**FSx for ONTAP** を選択します。
4. *FSx for ONTAP*から、リセットするストレージVMパスワードを含むファイルシステムのアクションメニューを選択し、*管理*を選択します。
5. ストレージ VM の下のファイル システムの概要で、管理 を選択します。
6. [ストレージ VM の管理] 画面で、パスワードをリセットするストレージ VM のアクション メニューを選択し、[基本アクション]>[パスワードのリセット*]を選択します。
7. [パスワードのリセット]ダイアログで、次の情報を入力します。
 - a. 新しいパスワード：Storage VMの新しいパスワードを入力してください。
 - b. パスワードの確認：確認のために新しいパスワードをもう一度入力します。
8. *適用*を選択します。

NetApp Workload Factory でストレージ VM を削除する


不要になったStorage VM（SVM）をFSx for ONTAPファイルシステム構成から削除する。

開始する前に

Storage VMを削除する前に、次の点を確認してください。

- SVM内のデータにアプリケーションがアクセスしていないことを確認します。
- SVMに接続されているルート以外のボリュームをすべて削除します。

手順

1. いずれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. メニューを選択  次に*ストレージ*を選択します。
3. [ストレージ] メニューから、**FSx for ONTAP** を選択します。
4. *FSx for ONTAP*から、更新するファイルシステムのアクションメニューを選択し、*管理*を選択します。
5. ストレージ VM の下のファイル システムの概要で、管理 を選択します。
6. 「ストレージ VM の管理」画面で、削除するストレージ VM のアクション メニューを選択します。

7. [Storage VMの削除]*を選択します。
8. [Delete Storage VM]ダイアログで、「delete」と入力してStorage VMを削除します。
9. *削除*を選択して確認します。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。